

ひだまり通信

< 第7回 子育て支援・子どもたちの性を考える(公開講座) >

11月11日に、埼玉県家庭教育振興協議会理事、築地弥生先生をお招きして「子どもたちの性を考える」をテーマにお話をいただきました。参加して下さった保護者の皆さんからも、少し先の子育てに役立つお話だったと感想をいただきました。



<現代の子どもたちの心と身体は>

- ・便利さ快適さがもたらしたものの……心身の忍耐力の低下、我慢できない子
 - ・「食」環境の変化……生活習慣病の若年化、肥満症の増加
 - ・体位・体格と社会性や運動能力の落差…体は大きいのに、からきし子ども
 - ・適応力の低下……自分を表現出来ない子、キレる子、個性のない子
- ～食欲は本能！手軽に空腹を満たせる現代の子どもたち、食欲をコントロールすることは、本能をコントロールする事に繋がります～

<性について>

- ◎両足の間の「性」から両耳の間の「性」へ
脳→心→身体 脳と心をコントロールしていくことが今の主流となってきている。
- ◎学校での性教育
 1. 自己の性についての認識を確立する。
 2. 男女平等の精神に基づいて、男女の人間関係をよりよく築くことができるようにする。
 3. 家庭や社会の一員として、性に関わる諸問題について適切な意思決定ができるようにする。
- ◎子どもから大人への移行期(二次性徴)
心と身体の変化・身体は自然に大人になるが、心が大人になるためにはモデル(お手本)が必要。
モデル(お手本)は両親、両親は最初に出会う異性です。
- ◎性心理の男女差「はずかしさ」の感じ方の違いを理解し、発育発達の個人差を比べない。
- ◎エイズを防ぐ最良のワクチンは家庭教育と学校教育である。
- ◎家庭における性についての対応…
 1. うそはいわない、でも全部いわない。
 2. 逃げない、誤魔化さない。
 3. 「後でね」といえる家庭を作る。
 4. 「あなたはどう思うの」と聞くことができるゆとり。
 5. 美しい言葉、きちんとした言葉で語る。



☆ 性教育の究極の願い ☆

- ・自他の生命の尊重・健康でしあわせな生活
- ・大切にされている自分を自覚させる
- ・他人を大切にする・物を大切にする
- ・親自身の生き方⇒大人になって素晴らしいと感じさせる
- ・家庭における性教育は日常の躰けをする事



～参加者の方の感想～

- ★性教育が脳の教育である事を初めて知った。
- ★男の子の思春期をどう接するか、どんなことに気をければよいか少し分かった気がします。
- ★その時になって、戸惑わないように前もって心の準備ができて良かったです。

